

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	情報リテラシー		
英文授業科目名	Information Literacy		
開講年度	2008年度	開講年次	2年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法	講義	単位数	1
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	システム工学科		
担当教官名	山本 渉		
居室	西5-601		

公開E-Mail	授業関連Webページ
授業関連Webページに記載(右のURLは学内限定です)	<a href="http://port.se.uec.ac.jp/incampus/moin.cgi/InformationLiteracyB/2008">http://port.se.uec.ac.jp/incampus/moin.cgi/InformationLiteracyB/2008</a>

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>さまざまなソースからの情報を報告、表現、抽出、加工するための道具としてのコンピュータの使い方を学んでもらうことを目標にしています。具体的には、ワープロ、プレゼンテーション、表計算、数式処理、シミュレーション、図形処理、画像処理などのソフトウェアを使用して、実際にどのように使えば良いかを講義と演習課題を通して身に付けてもらいます。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
<p>コンピュータリテラシーと基礎プログラミングを修了していることを前提としています。</p>

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
<p>特になし。</p>

<b>【教科書等】</b>
<p>指定しません。毎回の講義で、資料を印刷またはファイルで配布します。</p>

【授業内容とその進め方】

毎回の講義は、その回に習得して欲しい事項の説明と実習をしてもらいます。  
そして、演習課題を通して、経験を深めてもらうことを目標にしています。

講義は13回分を予定し、残りを補習にあてる予定です。  
講義の項目は下記のを予定していますが、進捗に応じて調整します。

1. 科目ガイダンスと計算機室ガイダンス
2. 報告書：方向書作成のガイダンスと演習
3. プレゼンテーション：プレゼンテーション資料作成のガイダンスと演習
4. プレゼンテーション実習
5. 表計算入門：前回の評価の集計と報告書作成 (連続変量、1次元)
6. 表計算：頻度、比率、層別 (離散変量、1次元 + 層別変数)
7. 表計算：変数間の関係の分析 (連続変量、多次元)
8. 表計算：定点観測
9. 表計算：集計と同定 (時系列データ、1次元)
10. 表計算：テクニカル分析 (時系列データ、1次元)
11. 表計算：最適化 (線形計画法)
12. 表計算：最適化 (線形計画法)
13. 表計算：最適化 (線形計画法)
14. 表計算：微分方程式と差分方程式 (決定論的シミュレーション)
15. 表計算：差分方程式の精度評価 (決定論的シミュレーション)
16. 表計算：モンテカルロ実験 (確率論的シミュレーション)
17. 表計算：待ち行列 (確率論的シミュレーション)
18. データベース：表計算とデータベースの双方でできること
19. データベース：表計算でできないこと

毎回の講義では課題に取り組み、成果をレポートとして提出してもらいます。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

単位取得の要件は、出席については次の通り。

- ・最初のガイダンスに必ず出席すること
- ・計算機室ガイダンス(情報リテラシー演習の初回)に出席すること
- ・三分の二以上は出席すること
- ・遅刻は減点の対象となるので、遅刻しないこと

レポートについては、次の通りです。

- ・出席した回のレポート課題のみを受理するので、三分の二の出席ではまず単位の取得は不可能。

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

できるだけ出席すること。

- ・提出期限に遅れたレポートは、大幅に減点されるので、できるだけ期限内に提出すること。
- ・提出しない本数に応じて、減点が科されるので、できるだけ多くのレポート課題に取り組むこと。

最終的な成績評価は、総点で行うが、例えばすべてのレポートを期限内に提出し、評価が優になったものが優となるように評価します。三分の二しか出席しなかった場合には、よほど提出するレポートの評価が良くないと、単位が取得できないので、欠席については各自で責任を持つことを期待しています。

### 【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じますが、mail等で事前にアポイントをとってください。情報リテラシー演習の時間中に相談して下さると、お互いに都合が良いかもしれません。

### 【学生へのメッセージ】

様々な課題を通してコンピュータを、全員が研究目的に使えるようになることを目指しています。

### 【その他】

履修希望者は4月15日(火)の第一回の講義には必ず出席してください。  
その週に欠席すると、今年度の履修が不可能となります。